



2019年度
西山小学校
学校だより

杉

第35号
2020年1月16日(木)
文責：笠原 聡

教育目標 ～ 深い雪にも耐え 大空に向かって たくまほっすぐ伸びる 西山の杉のような子どもを育てる

3学期のめあての発表～全校のつどい～



昨日の「全校のつどい」で、2年の坂口理久さん、4年の菊地恵華さん、5年の山内乃唯さんの3人が、冬休みのことや3学期のめあてについて、以下の内容の発表をしました。

◆坂口理久さん

3学期がんばることは、漢字の練習と手洗いうがいをすることとなわとび。
漢字は、2学期あまりがなげなかつたので、3学期はていねいに書いて覚える。
手洗いうがいは、家で必ずしているのだから、これからも続けてかぜをひかないようにする。
なわとびは、あやとびと交差とびができるようになりたい。この3つのめあてをがんばって、3学期も楽しく過ごしたい。



◆菊地恵華さん

冬休み前に3つのめあてを立てた。1つ目の早起きすることは、寝る時間が遅くなってあまり守れなかつた。2つ目の運動することは、進んでなわとびをすることができた。3つ目の宿題をきちんとやることは、毎日少しずつ進めることができた。

冬休みの思い出も3つある。1つ目は、大晦日に家の掃除をしたり、おいしいものをいっぱい食べたりしたこと。2つ目は、いとこと遊んで楽しかったこと。3つ目は郡山のドンキホーテに行って、いろいろな買い物をしたこと。



3学期のめあては、「国語の50問テストをがんばる」、「スキーを上手にできるようになる」、「なわとびをがんばる」の3つ。3学期は50日しかないのだから、この50日を大切にしたい。

◆山内乃唯さん

クリスマス会でスノードームが作れて楽しかった。大晦日に、お父さんと一緒に除夜の鐘をついた時、大きな音が出て心臓がドキッとした。

「国・算のしあげ」を早く終わらせることができたので、4日は宿題をしなかつた。

心に残ったことは、福島のぼあちゃんと白鳥を見たこと。

3学期のめあては、「よく考えて行動し忘れ物をしないこと」、「けがをしないこと」、「宿題プリントなどに落ち着いて取り組むこと」。また、人に流されないように、自分の意見や考えをみんなに伝えることができるようになりたい。



今回は、代表の子どもたちの発表でしたが、全ての子どもたちが、それぞれに3学期のめあてや目標を決めています。学校では、子どもたち一人ひとりが自分のめあてや目標を意識しながら生活をしたり、学習したりできるように支援と指導をしていきます。

最優秀賞受賞おめでとうございます

福島民報新聞社主催の「メッセージカードグランプリ2019」で、2年の伊藤あかりさんが、小学校低学年の部で、最優秀賞を受賞しました。

1月11日(土)に、福島民報本社で表彰式があり、ご両親と一緒に出席してきました。

本校では、読書活動を推進しており、今回、図書を紹介する活動の一環として8人が応募しました。今後も、子どもたちの意欲の向上を図りながら、このような機会に参加させていきたいと思ひます。



本校のホームページでは、日々の活動の様子などをお知らせしています。どうぞご覧ください。
ホームページアドレス yanaizu.fcs.ed.jp/西山小学校 (「やないづ教育ねっと」でも検索可)